式　　辞

清流長良川の水面は陽春の光にあふれ、早田川の桜も、皆さんの入学を待ち詫びていたかのように満開に咲き誇っております。

この良き日に、本校ＰＴＡ会長　大野　幹根（おおの　みきね）様をはじめ、ご来賓の皆様方、そして保護者の皆様方のご臨席を賜り、令和七年度岐阜県立岐阜北高等学校入学式を挙行できますことを、高いところからではございますが、心より御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました三二一名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

職員及び在校生一同、皆さんのご入学を心より歓迎します。

いま、皆さんの胸の内は、入学に対する喜びと、今後の高校生活に向けての大きな期待に満ちあふれていることと思います。

県内有数の進学校である本校を自ら選び、全身全霊をかけて挑戦し、見事合格を手にし、今ここに北高の制服を着て入学式に参加されていることを、あらためて誇りに思ってください。同時に、皆さんを導いでくださった中学校の先生、一緒に勉強した仲間たち、そして何よりも、皆さんの日々の生活を陰ひなたとなって支えてくださったご家族の方々への感謝の気持ちをどうか忘れないでください。

今日から岐阜北高校の第一歩を踏み出す皆さんに、私からぜひ取り組んでいただきたいことを、三つお話します。

まず、一つ目は、学校生活すべてにおいて自発的、主体的な学びを意識してほしいということです。高校での学習は義務教育と違い、格段に量が増え、その質も内容も高くなります。与えられた課題だけを取り組むやり方では身につきません。自分なりに探究心をもって試行錯誤し、時には他者と協働しながら、常に問題意識をもって主体的に学習に取り組んでください。

二つ目は、お互いを高め合える人の絆を作ってほしいということです。本校では、勉学はもちろん部活動や生徒会活動、球技大会や文化祭・体育祭など、学級や学年を超えた多くのシチュエーションがあります。その中で、仲間や友人と切磋琢磨し、失敗や成功を繰り返しながら、自らの将来の生き方を考えることは、皆さんを人として成長させ、人生を豊かなものにします。それは、生涯においてかけがえのない財産となるはずです。

最後は、正面左手をご覧ください。本校の校訓が掲げられています。本校の校訓は、「変わらぬ色の三つ柏　若き生命　高き志操ペンのからどる英知をもちてー」という和文調の校訓です。「若き生命」とは、みずみずしい生命力、とりわけ精神の若さを意味します。「高き志操」とは、高く価値ある志を立て、その実現に向かって諦めず努力する強い心を表します。「英知」とは、ただ知識を吸収するだけではなく、それを現実社会に生かしていく真の意味での聡明さです。そして、本校の校訓は、続きを明言せずに終わって

います。「若き生命」「高き志操」「英知」を身に付けてどう生きるのか。その部分を、皆さん一人一人がこれからの三年間で、この校訓の続きとなる言葉を埋めていってください。

本日から皆さんは岐阜北高生として、自らの人生を切り拓く第一歩を踏み出しました。今は期待とともに、不安もあるかもしれません。

しかし、心配はいりません。皆さんには仲間や先輩がいます。そして先生がいます。本校の先生方は、皆さんを教え導くことに誇りを持ち、皆さんの夢の実現を最大限にサポートします。

さあ、新入生の皆さん、高い志を持って学んでください。そして、自分らしい生き方を見つけてください。

結びになりますが、保護者の皆様におかれましては、お子様の晴れの入学式を迎えられことに対し、心よりお祝い申し上げます。

本校としましても大切なお子様を三年間お預かりすることに対し、身の引き締まる思いがするとともに、精一杯努力していく所存でございます。何卒、本校の教育方針にご理解を頂き、様々な教育活動に対しご支援、ご協力をいただきますことを心よりお願い申し上げます。

新入生の皆さんの高校生活が実り多きものになることを願い、令和七年度入学式の式辞といたします。

令和七年四月八日

岐阜県立岐阜北高等学校

校長　上田　和伸